

会 議 録		令和 3 年 8 月 24 日 作成	令和 7 年 3 月 末 日 廃 棄
会議名	京都府綾部警察署協議会（令和 3 年度第 1 回）		
開催日	令和 3 年 8 月 5 日（木曜日）		
時 間	午後 1 時 30 分から午後 3 時 10 分までの間（100 分）		
場 所	京都府綾部警察署 講堂		
出席者	大槻会長、梅原副会長、塩見副会長、千賀委員、吉田委員、藤田委員 上原委員 計 7 人		
	署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長 交通課長、警備係長、広聴係長、相談係長 計 11 人		
諮 問 事 項	1 綾部警察署管内の治安情勢について 2 綾部警察署管内の交通情勢について		
会 議 内 容	1 会長、副会長の選出（互選） 2 防犯機能付き電話機の紹介 3 開会 4 委嘱状の交付 5 署長挨拶、警察署幹部紹介 6 会長挨拶 7 各委員挨拶 8 協議 (1) 諮問事項説明 令和 3 年上半期の綾部警察署管内の犯罪情勢と犯罪抑止対策について 説明～生活安全課長 【委員】7月の犯罪発生がすごく増えているが、分析は出来ているのか。 【警察】連続発生で件数が増える場合もあるが、今回は空き家や納屋に対する盗難で、職業的な泥棒が管内に入ってきたという状況ではない。 【委員】以前、自治会連合会の会長をしていた時に、防協ニュース、交通だよりと交番のミニ広報紙を発行していることについて嬉しいと感じていた。 自治会長会の前に届けてもらっていたので、中筋地区では大事な項		

会 議
内 容

目を別途記載して、それを各自治会が持ち帰り、それぞれが作成する資料に内容を盛り込んでいる。それを組回覧している。

そうして情報共有してもらえることが、本当に有難いと思う。

【警察】私も綾部市民であるが、回覧版が回ってきて広報紙が入っていると感心する。

以前に他の市で勤務していた際、死亡事故が多発したため全戸回覧をしたいと計画したことがあるが、その市では、そもそも警察から回覧を依頼された文書を全戸回覧する根拠や制度がなかったので、その制度を構築することとなり苦勞した。

それが綾部市では、元々からネットワークが出来ており、これは凄いことだと思っている。

今はお伝えする情報をしっかり調整して提供させてもらうよう尽力しているので、引き続き頑張らせてもらう。

【委員】防犯ニュースはいつも見ており、地域の掲示板にも貼らせてもらっている。

たくさん情報を載せてもらっているが、字が小さいので掲示板では少し見にくいところもある。

【警察】分かり易い記載を心掛ける。

【委員】見出しが大事ではないかと思う。

そこで何を伝えたいのか、分かるようお願いしたい。

【委員】紙媒体での回覧は情報発信として有効で良いと思うが、今は新型コロナウイルスの情勢もあるので、SNSなどを使って、手軽に、ペーパーレスでできないだろうか。

小さな子どもを持つ世代であれば、回覧版も大事だが、もっと手軽にタイムリーな情報を欲しがると思う。

スマホやタブレットを既に持っていて、子どもたちも小学校からタブレットの支給が始まっているので、うまく活用できれば、多くの方に素早く見てもらえるんじゃないかと思う。

【警察】情報発信のツールとして、例えばメールであれば、まずは、そこへ登録してもらうところから広めていく必要がある。

出来る限り、小さな子どもを持つ世代に防犯情報を届けたいが、登録してもらう必要があるという点が課題だと捉えている。

【委員】確かにメールは少し難しいように思う。

例えばツイッターやLINEなどのSNSで、こういう情報を欲している人は多いと思うので、登録することに対しては、抵抗なく、一気に登録されるのではないかと思う。

【警察】手法や需要などを研究して頑張りたい。

会 議
内 容

【委員】綾部商工会議所の女性会として登録しているので、そうした情報は入ってきている。

【警察】フェイスブックは京都府警察でもやっているが、「いいね」の数などを見ると、まだまだだと感じる。

工夫をして良い方法を考えたい。

【委員】ペーパーとデジタルの両方からお願いしたいと思う。

【委員】声掛け事案等がすぐにメール配信されるのは、近しい者同士で互いに連絡を取り合うことが出来て、とても有効と思う。

(2) 諮問事項説明

綾部警察署管内の交通事故発生状況、事故の特徴、下半期の取組について説明～交通課長

【委員】交通違反の件数、事故が少ないのは非常に良いことと思う。

国道27号線や府道8号線などは交通量の多い道路になるが、昨年より事故が減っていることについて、地元の方のマナーが良いからなのか、警察はどのように分析しているのか。

【警察】綾部の特徴としては、運転者の大半が綾部市民で、近隣市町村への通勤なども多いと思われるが、皆さんが安全運転に努めておられるというのが挙げられる。

事故が減っている理由は警察だけでなく、医療や車両技術の発展もあると思うが、それでもやはり一番大きいのは、安全意識の高揚ではないかと考えている。

またコロナ禍で高齢者が活動を抑制しているので、過去の統計で高齢者被害の事故が多いことを鑑みれば、その影響もあるように思われる。

【委員】総合庁舎の職員も少なからず事故を起こしてるので、日頃の交通事故防止が重要と考えている。

研修が行いにくい情勢なので、いただいている交通だよりを職員に庁内メール等で配信し、注意を促している。

まだまだ足りない部分もあるので、ご指導いただければ有難い。

【委員】かなり高齢でも免許を持っている方がいて、驚くことがある。

中々返納する勇気を持っていないようであるが、自身の体力の衰えを自覚してもらい、自分の命も相手の命も大事ということを理解してもらうことが大切だと思う。

「勇気をもって返納する」という活動をされていると聞かせてもらい知ることができた。機会があれば、そうした広報をされているところを見学したいと思う。

【警察】機会があれば、ここでも見てもらえらると思う。

会 議
内 容

普段から、自動車教習場を借りてドライビングスクールを行い、高齢者の集まりに参加し体験してもらうなど、ゲーム形式で反射神経の衰えを高齢者に実感してもらうといった活動をしている。

綾部は公共交通機関が少なく、他の市町村では乗合タクシーのようなサービスを始めているところがあると聞くので、もしそうしたものがあれば、それを利用していただき自主返納を促すといったことも考えたい。ただ警察だけでは難しい面もあると思われる。

【委員】地域を含めて、免許を返納しても生活できる環境を整えることが大事だと思う。

【警察】家族の負担が一番大きくなるが、もし買い物支援などが出来るのであれば、そこから自主返納を促していく。ただ、近くに家族が住んでいない方は別の方法を考える必要があり、今後の課題である。

【委員】道路の白線が薄くなっているところがあり、信号機のない横断歩道でも見えにくいところがあるが、補修等が行われているのだろうか。

府道8号線での事故が多いということであるが、40キロ規制が妥当なのか、50キロにすれば事故は増えるのか、そのあたりの基準はどうなのか伺いたい。

また、自治会の役員会では、小学生の子どもを持つ母親から横断歩道を付けるか、横断歩道が難しければ信号機を付けてほしいという要望を受けることが多く、横断歩道の設置についてどう考えているのか。

それと千葉県の交通事故を受けて、まず大事なのは子どもの交通安全教育であり、それをどう学校で教えていくか、警察にもお世話になることが大事ではないかと思う。

2つ目は施設整備、これは警察の範疇ではないが、大津市の事故でもそうであったようにガードレールの設置等ハード面の整備を進めていくことが大事と思う。

3つ目は、綾部で飲酒に絡む事故の発生は無いという説明であったが、千葉県では小学生の列に飲酒運転のトラックが突っ込み児童5人が死傷した事故が起きている。また、道の駅でビールを飲んだ運転手が仮眠をとってから運転するという報道を見たが、果たしてアルコールが抜けているのかと不安に思う。綾部署の飲酒運転に対する取組を教えてほしい。

【警察】白線については、私も赴任してすぐに思ったので、本部に確認している。時期的なものや予算の問題があり、遅れる場合もあるが、本部へ上申させてもらっている。現在、国が通学路の見直しを指示しているところなので、こうした機会にしっかりと直していきたいと考えている。

会 議
内 容

速度規制については、難しいところがある。50キロでも良いかもしれないが、交通量が多いところなので、敢えてあげる必要はないようにも思える。

速度規制では一定の基準が定められており、過去には緩和の話が出たこともあるが、府道は交通量や市街地を通っているという事情から見送られたのではないかとと思われる。

横断歩道を設置するには、歩行者が安全に横断を待てる場所が必要で、できれば照明の付いている場所が望ましい。近くに横断歩道がある場合などは難しくなるため、設置要望があれば、個別検討するので申し出ていただきたい。

飲酒事故については少ないと感じており、通勤中の朝の飲酒なども認められないので、そうした実態はほぼないと考えている。飲酒取締りは定期的に行っているので、飲酒に関する情報を提供いただければ、本部とも連携して必ず対応させてもらう。

【委員】子どもたちの交通安全教室や機会に関して、昨年、小学生の息子が通う学校で民生委員が行う半日ほどの大きなイベントが2回行われ、当時の綾部警察署の人にお世話になり、ポリスマろん、白バイ、パトカー、男女6人の警察官が来てくれ、とても盛り上がった。子どもは大喜びで、それを見ている保護者も、警察への見方が凄く良くなったような印象を受けた。

交通安全教育などのダイレクトな場でなくても、子どもに関わることで、交通安全の意識が高まり、警察にお世話になっているという気持ちになるので、コロナ禍ではあったが、出来て良かったと思っている。

それと、警察から子ども見守り隊の方にマスクを作ってもらった。

贈呈式をしたいということで、お話を戴いたところ、制服警察官が小学校へ来ると、子どもはそれだけでとても喜んでいた。

またコロナ禍で延期になったが、平安騎馬隊が来てくれるという話もあり、かなり珍しいと聞いているので、いつか機会があれば、ぜひ一度お目にかかりたいと思っている。

【警察】地域課が取り組んでいたイベントなので、ぜひ調整して開催したいと思う。

9 事務連絡

次回開催について、日程調整を図り、改めて事務局から連絡する。

10 閉会

以 上

第1回京都府綾部警察署協議会の開催状況

